

日時 平成28年10月6日(木)

5校時

場所 庶路中学校 1年A組

授業者

1. 単元名 「文章の構成や表現の特徴を捉えて読む～図表を使いこなそう～」
教材名 『電子レンジの発想』『言葉のゆれを考える』『花の形に秘められたふしぎ』(教育出版1年)

2. 単元について

(1) 単元のねらい

1学期には「読むこと」の単元で「段落相互の関係を考えて文章の構成や展開を捉えること」を学習している。本単元では白糠町の漁業について説明することをふまえ、三つの教材を読む。自分の説明を聞いてもらえるよう、相手意識をもって読み「文章の構成や表現の特徴を捉えて読む力」を身に付けさせたい。扱う教材には、図表が文章の内容を分かりやすくするために使われたり、文章が図表の解説になっていたりするところがある。図表が文章の中心的な部分、又は付加的な部分の、どこに関連しているのかを確認させるなどして、書き手の伝えたい内容をよりの確に読み取らせたい。本単元での学習を通して今後の「書くこと」の指導にもいかしていく。

(2) 生徒の実態

指示されたことを、丁寧に粘り強く取り組むことができる生徒たちである。だが、自ら進んで考えを話し合ったり、文章に書き表したりすることが苦手な生徒が多い。このため、小学校での担任はさまざまな場面で発信する活動を繰り返し行い、中学校でも、作文や話す活動を多く取り入れ、伝え合う技能を高める学習を行ってきた。その結果、体育祭や合唱練習など、国語以外の活動でも、話し合う姿が見られるようになってきた。本単元では、教科書本文に加え、自分たちの住む町を題材に取り上げることで、目的意識・相手意識をもち、さらに伝え合う力を高めさせたい。

3. 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- ・図表を用いた説明文を交流するために、必要感をもって文章を読もうとする

【読む能力】

- ・文章と図表を照らし合わせながら関連を的確に捉え、内容を理解することができる (読: C(2)-イ)
- ・筆者の説明の仕方に注意して読み、文章の表現の仕方の工夫を捉えることができる (読: C(1)-エ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・多様な語句について理解を深め、文章の中の語彙について関心をもつことができる (伝: 統イ (ウ))

4. 本単元の言語活動について

- ・図表を用いた説明文を書き、発表することを通して、読む力を定着させたい。
- ・文章と図や写真との関連を考えながら説明の文章を読むことを身に付けさせたい。

5. 単元の指導計画(1 1時間扱い)

| 時 | 主な学習活動 | 評 価 | | | ◇具体的な評価規準 【評価方法】 |
|-------------|---|-----|---|---|--|
| | | 態 | 読 | 言 | |
| 1 | 『出前講座～漁師の町、白糖の水産資源』 ・ゲストティーチャー（白糖町社会教育課）による出前講座を元に、7・8時で説明する題材を考える。 ・単元の見通しを立てる。 | ◎ | ○ | | 説明したいことについて、ノートにメモをとっている。 【記述】 |
| 2 | 『電子レンジの発想』① ・本文を読み、文章の構成をとらえる。 ・説明をわかりやすくするために図表が使われていることを知る。 | ○ | ◎ | | 三段構成を理解している【観察・発言】 |
| 3 | 『電子レンジの発想』② ・本文中の図と文章の関連をとらえる。 ポイント1 文章を図によって補足することを知る。 | ○ | ◎ | ○ | 図と文章を関連づける方法を理解している【観察・記述】 |
| 4 | 『言葉のゆれを考える』① ・本文を読み、文章の構成をとらえる。 | ○ | ◎ | | 四段構成を理解している【観察・発言】 |
| 5 | 『言葉のゆれを考える』② ・本文中の図表と文章の関連をとらえる。 ポイント2 事実や考えを表す文末表現を知る。 ポイント3 図表を文章で補足することを知る。 | ○ | ◎ | ○ | グラフと文章の関連のさせ方を理解している【観察・記述】 |
| 6 | 『言葉のゆれを考える』③ ・図表を用いて「事実」と「考え」を区別して説明する。 | ○ | ◎ | ○ | 図表を読み取り、図表と関連させて説明文を書いている【観察・記述】 |
| 7 本 時 | 『白糖町の漁業について説明しよう』① ・本単元で学んだことを生かすため、図表を使った説明文をつくる。本時では説明文の中心になる部分を書く。 | ○ | ◎ | ○ | 図表を読み取り、図表と文を関連させて説明文を書いている【観察・記述】 |
| 8 | 『白糖町の漁業について説明しよう』② ・図表を使った説明文を完成させ、4～5人のグループで発表する。 | ○ | ◎ | | 図表を読み取り、図表と文を関連させて説明文を書き、発表している【観察・記述】 |
| 9 | 『花の形に秘められたふしぎ』① ・本文を読み、筆者の主張をとらえる。 | ○ | ◎ | | 筆者の主張をとらえている【観察・記述・発言】 |
| 10 | 『花の形に秘められたふしぎ』② ・グラフを読み取り、花に集まる虫の偏りを説明する。 | ○ | ◎ | ○ | 図表を読み取り、図表と関連させて説明文を読んでいる【観察・記述・発言】 |
| 11 | 『花の形に秘められたふしぎ』③ ・昆虫と花の形の多様さとの関係を、本文やグラフの数値を用いて説明する。 ・文章題（北海道チャレンジテスト）に取り組む。 | ○ | ◎ | ○ | 図表を読み取り、図表と関連させて説明文を読んでいる【観察・記述・発言】 |

6. 本時について

(1) 本時の目標

図表から情報を読み取り、考えたことを表現の仕方に気を付けながら文章に著すことができる

(2) 本時における『言語活動』

『白糠町の漁業について説明しよう』

聞き手にわかりやすい説明をするために、これまでの授業で学んできた「図表を利用して説明する文」を書く。

(3) 本時の展開 (7 / 11 時間目)

| | 学 習 活 動 | 教師の働きかけ | 評価・留意点 |
|-----|--|---|--|
| 導 入 | 単元名・学習テーマに立ち返って、本時の活動をイメージする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">『白糠町の漁業について説明しよう』 ～図表を使った説明文づくり～</div> | <ul style="list-style-type: none"> 単元名・学習テーマを板書し、活動内容を説明する。 ワークシートを配布する 中盤で途中経過を見せてもらうことを伝えておく。 | <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 図表を利用するポイント ①文章を補足する図表を選ぶ ②事実と意見を区別する文末表現を使う ③図を補足する文章をつける </div> |
| 展 開 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【課題】 選んだ図表について説明するために、これまでの学習内容を確認しながら説明文の第2（・第3段落）を書こう。 </div> <p>(1)説明したい図を机の上に出す。 (2)「図表を利用するポイント」を確認する。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 説明文づくりの概要 <ul style="list-style-type: none"> 図表が一つの場合は3段落構成、二つの場合は4段落構成で書く。 読み取れる数値と、それをもとに考えたことを、表現の仕方に気を付けながらワークシートに書く。 ポイント①は波線、ポイント②は○で囲い、ポイント③は二重線をつける。 説明する部分が書けたら、序論・結論の部分を書き始める。(次時内容) </div> <p>(3)ヒントを確認し、再開する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> これまで学習してきたことを確認する。 黒板に「図表を利用するポイント①から③」を貼る。 | <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 評価（関）：観察 図表から情報を読み取り、考えたことを表現の仕方に気を付けながら文章に著そうとしている </div> <p>・辞書は必要に応じて使わせる ・T2は生徒を支援する</p> |
| 整 理 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【まとめ】 記述したことをペアで交流し、図表の利用について振り返る。 </div> <p>(1)教師の合図で説明、質問を行う。 (2)発表後、2～3名を指名し、相手の発表の良かった点について発表させる。</p> | <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> ペア交流での聞き方 <ul style="list-style-type: none"> 3つのポイントをふまえて説明しているか。 ポイントについて、説明できていることに肯定的な言葉を返す。 話し手に一つ、改善点を伝える。 </div> | <p>・交流が終わったペアは、次時に向けて文の直しをさせる。</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 評価（読）：記述 グラフから数値を読み取り、考えたことを表現の仕方に気を付けながら文章に著している。 </div> <p>・ヒントは書画カメラを活用する。</p> |